

安曇野市自転車活用推進協議会 会議概要

1	審議会名	安曇野市自転車活用推進協議会（第1回）
2	日 時	令和3年6月21日 午後3時00分から午後4時57分まで
3	会 場	会議室 306
4	出席者	平林功、二木正之、細野脩一、浅香英二（代理出席）、太田和男、北林太、小林可奈子、土屋征寛、前田正一、益山代利子、松島義一、平林裕司、矢口大輔、横田耕太郎
5	市側出席者	中山副市長、高嶋政策部長、丸山政策経営課長、赤沼政策経営課長補佐、高橋主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者4人（うち2人は資料提供のみ）

協 議 事 項 等

安曇野市自転車活用推進計画について

- (ア) 自転車活用推進計画の位置付け
- (イ) 自転車の活用に関するこれまでの市の取り組み
- (ウ) 市民アンケートの結果
- (エ) 自転車活用推進計画策定の進め方

《質疑・意見》

- ・松くいで松枯れしている山に作業道がある。ここに松枯れした材木をチップ化して敷き詰めるなど、松枯れ対策の利活用が検討できるのではないか。新たな利活用のかたちとして市から発信できるのではないか。
- ・自転車が健康に良いという裏付けとして数値化したものを示すのがよいのではないか。ホームページに限らず、公民館などで掲示するのがよいのではないか。
- ・市内の道は走りにくい。専用道路には懐疑的であり、車道を走ればよいと考えている。しかし、実際に走ってみると小石や草が障害となり、左端を走ることは難しい。左側を安全に走れる環境・整備が必要なのではないか。
- ・安全安心については、自転車に限らず、車のドライバーに対する指導も必要である。
- ・「安曇野サイクルブランド」に、スポーツや健康を加えてみたらどうか。
- ・キーワードとして、「教育」「産業」「雇用」を加えてほしい。長野県は自転車を競技として行うために多くの人が集まっているが、知られていない。スポーツを通じて仲間を作っているだけで意味でも「教育」を入れて欲しい。
- ・電車の車両に自転車を乗り入れるためには、現状は折り畳み、自転車を袋に入れるような対応が必要である。もっと自由に乗り入れ（持ち込み）できるような状況を実現できないか。
- ・安全協会・警察と協力して、安心して自転車に乗れるような環境を作っていきたい。
- ・せっかくの機会なので、十分に情報を発信して地域振興につなげてほしい。

(以 上)